

市町(自立支援)協議会の役割と社会資源の活用

(受講者番号 受講者氏名)

1 あなたが所属している事業所のある市区町について

(1) 状況について、該当欄に記入してください(令和2年3月31日現在、以下同様)

- ・身体・知的障害(児)者数及び精神障害者数は手帳所持者数を記入してください。
- ・広島市においては「区」単位で記入してください。(以下同様)

基礎 数値	市区町	総人口	身体障害児数	知的障害児数	自立支援医療(精神通院)受給者数	高齢者数
	福山市	467,837 人	313人	850人	8,116人	132,696 人
			身体障害者数	知的障害者数	精神障害者数	
			17,095人	3,231人	5,529人	

(2) 相談支援の状況について、該当欄に記入してください

①相談支援事業所 (カ所数)	一般相談	特定相談	障害児相談	②障害者相談支援事業委託事業所数
	12カ所	37カ所	19カ所	1カ所(1法人)
③基幹相談支援センター	<input checked="" type="radio"/> 有 センターの事業内容・相談支援事業所との連携状況 市が社会福祉協議会へ基幹相談支援センター事業を委託。 関係法人からの出向と社協雇用により、相談支援専門員を配置し、総合的な相談支援を実施。市内の相談支援事業所に対する指導、助言等も実施し相談機関とのネットワークの構築を図っている。 ○業務内容 (1)総合的な相談支援(3障がい対応) (2)専門的な相談支援 ・発達検査, 相談支援 (3)障がいの地域移行・地域定着の促進 (4)権利擁護のために必要な援助 (5)就労支援 (6)地域の相談支援体制の強化 (7)福山市障がい者総合支援協議会の運営 (8)障がい者虐待の通報, 届出の受理及び相談等 ・障がい者虐待防止センター			

2 あなたが所属している事業所のある市区町の(自立支援)協議会について

(1) 概要を記入してください。(広島市においては、「区地域部会」を全体会とみなしてください。)

- ・組織図や要綱、資料を持参される場合は、資料持参と記載してください。

事務局(窓口)※部署又は事業所	基幹相談支援センター(クローバー)
全体会・部会等の構成 メンバー構成(参加事業者等)	1. 全体会, 部会等の構成 ・ネットワーク会議(全体会) ・運営会議 ・事務局会議 ・専門部会 ①相談支援部会 ②発達支援部会 ③就労支援部会 ④地域生活支援部会 ⑤権利擁護支援部会 ・相談支援事業所連絡会 2. メンバー構成 相談支援事業所, 医療機関, 障がい児福祉施設, サービス提供事業所, 家族会, 当事者の会, 就業・生活支援センター, ハローワーク, 特別支援学校, 社会福祉士会, 司法書士会, 県地域保健所, こども家庭センター, 商工会, 地域包括支援センター, 大学, 社会福祉協議会, 民生委員・児童委員, 福祉を高める会連合会, 行政

(2)あなたが所属している事業所のある市区町の(自立支援)協議会について、開催状況・活動内容や、あなたとの関係を記入してください。(令和元年度分)

(関係の例:私が委員をしている。上司が出席している。名前は聞いたことがある。活動実績がない。全く知らなかった等)

・組織図や要綱、資料を持参される場合は、資料持参と記載してください。

種 別		開催状況・活動内容・あなたとの関係(手引き6ページ参照)		
市町(自立支援)協議会	(全体会) ※広島市は区の地域 部会	開催状況 年1回	ネットワーク会議 障がい者総合支援協議会の各専門部会の報告及び意見交換、障がい者総合支援協議会の方向性等について協議を行った。	あなたとの関係
		年4回	運営会議 運営会議の在り方について、課題を抽出し、今後の方向性について協議を行った。	
	(相談支援部会)	年8回	『障がい福祉サービス等利用のご案内』の更新を行った。 制度改正や障がい児支援について研修会を実施した。 災害対応について、部会と事業所連絡会合同で開催し、多職種とも意見交換会を行った。	
	(発達支援部会)	年5回	「早期発見・早期療育のシステムづくり」について、乳幼児期を地域で支えるための研修を実施した。 医療的ケア児の支援について、意見交換会を行い課題の共有を行った。	
	(就労支援部会)	年4回	一般企業を招いての意見交換、シンポジウムを開催した。 就労移行支援事業所の取り組みについて意見交換会を実施した。	
	(地域生活支援部会)	年4回	「住まいの場」「社会資源ガイド作成」「普及啓発」の作業部会で各分野の具体を議論した。 地域の障がいのある人の理解をすすめる為の意見交換会を行った。	
	(権利擁護支援部会)	年4回	成年後見制度における、障がい者(高齢者)の意思決定支援について研修会を実施し、成年後見制度について理解を深めた。 歩んできた道「私は、障がい者である前にひとりの人間として生きたい」の講演会により当事者の思いについて共有が図れた。	
	(相談支援事業所連絡会)	年7回	市内の相談支援事業所が参画し、スキルアップを目的に、事例検討、情報交換等を行った。 発達に課題のある子どもたちの療育・保育・相談支援の現状について研修を行った。	
個別の調整会議※	年0回			
研修会・勉強会	年4回	「早期発見・早期療育のシステムづくり」～乳幼児期を地域で支えるために～ 歩んできた道「私は、障害者である前にひとりの人間として生きたい」 「成年後見制度における、障がい者(高齢者)の意思決定支援について」 シンポジウム「わたしのワークライフ」他		
その他 ()	年11回	事務局会議で、総合支援協議会の活性化に向けた検討を行った。(年11回)		

※地域の困難事例やサービス等利用計画等にかかるサービス担当者会議等で解決が図られない事例についての会議

(3)上記(2)の市町(自立支援)協議会について、あなたの意見を記入してください。
